

学んでなるほど! 財政クイズ!!

高浜市の未来を創る市民会議の財政分科会では、平成25年11月より5回にわたって(毎月1日号)、分科会メンバーで作成した『財政クイズ』を使って、市の財政状況をお伝えします。家族みんなでLet'sチャレンジ!!!!

答えの発表は3月1日号。
プレゼント当選者の発表は
4月1日号に掲載します。

(氏名の掲載を遠慮される場合は、ペンネームを書いて応募してください。)

今月のクイズ

今年も「予算編成」の季節がやってきました。市民のみなさんから納められた「税金」を何に、どのように使うのかを決めるとも大切な作業となります。

「予算」は、市長が各担当部局からの案を基に予算案としてまとめ、議会に提案します。その後、議会は、提案された予算案をいろいろな面から審議します。そこで問題です!!!

最終的に「予算」を決定するのは、次のうち誰でしょうか?

- ①市長
- ②議会
- ③市長と議会

「予算」とは…

市に入ってくるお金の使いみちを決めたり、使うお金がどれだけ集まるかを予測した計画を「予算」といいます。

4月から翌年3月を1年として、1年ごとに計画します。

その計画づくりの過程を「予算編成」といいます。



メンバーの想い…

市民のみなさんが納めた「税金」は、暮らしを支える行政サービスに使われています。

つまり、なくてはならないものなのですが、「とられる」と感じるのは、その使いみちが「知らないうちに決められている。」そんな思いからではないでしょうか。

「11月1日号」の当選者★ ★ ★

- ・「元気な父さん」さん
- ・「たら」さん
- ・「カキピー」さん
- ・「ヒアルロン」さん
- ・「キラキラ=とんこ」さん でした。



正解者の中から抽選で5人の方に、私たちがおすすめする《たかはまグッズ》をお届けします! たくさんの方の応募をお待ちしています!

応募方法は…

★はがき、または、メールに①答え ②住所 ③氏名 ④ペンネーム(希望する方)を記入して送ってください。

あて先 〒444-1398 高浜市役所 財務グループ Eメール zaimu@city.takahama.lg.jp

応募締切 1月20日(月)必着 ※直接持参可

「12月1日号」の正解は③約47万円 でした。プレゼントの当選者は広報たかはま2月1日号で発表

問合せ先 困財務グループ ☎52-1111(内線306)

高浜市教育基本構想の実現に向けて⑤

～高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成～ 「幼・保、小、中一貫教育の推進」～異校種参観事業～

今回から5回にわたって、12月1日号で紹介した「異校種間連携推進委員会」で推進する4つの事業について、学校現場のようすをとおして紹介します。

Q 「異校種参観」ってどういうことをするの?

A 高浜市内すべての幼・保、小、中の教員が、互いの教育観や指導観を理解し合うために、それぞれ異なる学校・園に出向き、子どもや授業のようすを参観することです。例えば、幼稚園教諭が小学校に出向き、園児と児童、保育と教育、学習環境について、共通点や相違点などを探ります。

Q 「異校種参観」のねらいとは?

A ねらいは2つあります。1つは「小1プロブレム」「中1ギャップ」など、異校種間の段差の軽減です。幼稚園・保育園から小学校へのつなぎ、また、小学校から中学校へのつなぎを円滑にするために、目の前にいる子どもたちに、教員

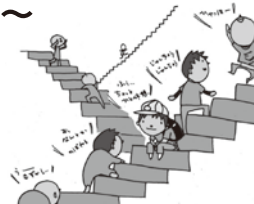
は何かできるのかを探るためです。

例えば、小学校入学に向けて、幼稚園・保育園の年長児にどのような力をつけておけばいいのかを正しく理解するためには、年長児の担任が直接小学校1年生のようすを参観することが大切です。

また、小学校としては、新たに入学してくる園児たちがどのようなことができ、どのようなことができないのかを正しく把握するために、1年生担任が直接年長児クラスのようすを参観することが大切です。

つまり、子どもたちの学びと育ちをスムーズにつないでいくためには、異校種間連携をこれまで以上に強化していくことが不可欠です。

2つ目のねらいは、幼・保、小、中一貫教育を実現させるためです。こちらについては、2月1日号で詳しく紹介します。



問合せ先 困教育センターグループ ☎52-1111(内線311)